

# デュロキセチンカプセル「JG」

服用される患者さま、ご家族の方へ

# デュロキセチンカプセル「JG」

## 服用される患者さま、ご家族の方へ

### お薬を正しく飲むために

#### 医師の指示どおり続けましょう。

- このお薬は、飲み続けると、脳内に作用し、脳内の神経伝達をスムーズにし、抑うつ気分や不安を和らげます。効果があらわれないからといって、勝手に飲むのをやめてしまわないように注意しましょう。
- うつ病は再発・慢性化しやすいため、症状がよくなってもお薬を飲み続けることが大切です。症状がよくなったからといって、量を減らしたりしないようにしましょう。

#### 【飲み忘れた場合の対応】

気がついた時に、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。決して2回分を1度に飲んではいけません。

### お薬を飲んでいる間の注意事項

#### このお薬の使用を中止する場合は、時間をかけて、少しずつ量を減らしていきます。

このお薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、些細なことでも心配になる、いらいら、あせりなどの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

#### うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。

このお薬を飲んでいる間、特に飲みはじめや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることがあるので、このような症状があらわれた場合には、医師に相談してください。

## 次の症状があらわれることがあります。

不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合には、医師に相談してください。このお薬との関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもともある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。

病状に変化があったと感じた場合には、医師に相談してください。

また、ご家族の方にも伝えるようにしてください。

## ご家族の方へ

### 患者さまの状態の変化について観察し、見守っててください。

ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来すなどの患者さまの行動の変化やうつ症状などのもともある病気の症状が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さまの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡してください。

## その他

- 眠気、めまいなどの症状があらわれることがあるため、自動車の運転などの危険を伴う機械を操作するときは、十分に注意してください。またこれらの症状を自覚した場合は、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は絶対にしないでください。特に薬の飲み始め、飲む量を変えたとき、他の薬から変えた際にこれらの症状があらわれやすいため、医師より運転などをしないように指示があった場合は指示を守りましょう。
- 7～17歳の大きい病性障害のある人がこのお薬を飲んだ場合、有効性が確認できなかったという報告があります。18歳未満の大きい病性障害のある人は、医師と十分に相談してください。
- 24歳以下で抗うつ剤を使用した場合、死んでしまいたいという気持ちを強めるという報告があります。24歳以下でこのお薬を使う人は医師と十分に相談してください。

医療機関名／連絡先

製品に関するお問い合わせ先  
日本ジェネリック株式会社 お客様相談室  
TEL 0120-893-170 FAX 0120-893-172